

令和 4 年度 第 2 回 学校運営協議会記録

		学校名	払戸小学校
開催日時	7月5日(火)	10時30分～12時00分	
出席者	会長：鈴木誠孝 委員：海道利夫 畠山喜美 仲塚鈴香 小松貴典 校長：一関隆則 教頭：長谷川礼		
協議内容	1 会長あいさつ 2 校長あいさつ 3 協議・情報交換 ①これまでの主な取組と今後の活動について(資料参照) ②情報交換 <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ以前の合同避難訓練は渡部地区の自主防災組織も加わって、発電機を動かしたり、防災の訓練や炊き出しなども行っていた。 ・運動会等の行事に学校運営委員として参加・参観していいのか分かりにくかった。←コロナ禍のため来賓としてのご案内は控えている。 ・学習するのに丁度良い人数に感じる。1～3年は考えさせる指導をしていたし、4～6年生には主体的な学びを意識して指導しているのが感じられた。園でも園児の主体性を重視している。 ・1年ぶりの授業参観だった。教室が広々と感じられた。外での体験学習は大変良いことだと思う。先生が健康で元気でないと教育が上手くいかないと思うので、健康第一でがんばってほしい。夏休みには公民館でいろいろな催しを予定している。子どもたちに参加してほしい。 ・やはり考えさせる授業が主流なのだと感じた。子どもたちは人数が少なくて紛れたりまぶされたりすることができないから、ある意味大変だと思った。 ・地域の行事として盆踊りが残っているのは渡部地区のみ。なまはげをやったのは、小深見本田・曲町・潟端くらいではないか。地域から変えていくのはなかなか難しい。学校が関わることで何かできないだろうか。 ・複式学級の複式の授業を見てみたかった。タブレットは思ったより小さくて、子どもたちの視力が低下するのではないかと心配になる。6年生になると身体つきが立派になるものだと感じた。 ・この時期の1年生が立って椅子を入れてきちんと話すなどしっかり指導しているのが伝わってきた。子ども同士のトラブルがあってもよく対応してもらっている。子どもたちには人としての生き方を学んでほしい。小学校で人間力を育ててほしい。 ③その他		